

令和6年第2回市議会定例会

提出予定議案概要等

令和6年6月3日

市 政

令和 6 年能登半島地震からの復旧・復興支援

1 住家被害状況（5月31日現在）

全壊	半壊	一部損壊	合計
1	75	2,547	2,623

2 罹災証明書等の発行等（5月31日現在）

- (1) 罹災証明書及び被災届出証明申請受付

1月3日開始（3,434件）
- (2) 住宅の応急修理等についての相談受付

1月3日開始（977件）
- (3) 被災証明書（農林漁業者及び被災事業者対象）

1月4日開始（374件）
- (4) 災害廃棄物の受入

1月4日開始（1,226台，835t）

3 災害義援金の配分状況（4月15日現在）

罹災区分	義援金（1次＋2次）	合計額
全壊	160万円	約1億1,800万円
大規模半壊	120万円	
中規模半壊	80万円	
半壊	40万円	
準半壊	16万円	
一部損壊	3万円	

4 能登地方への支援等の状況（5月31日現在）

(1) 広域避難者の受入れ状況

	ピーク時（2月末日）		5月31日現在	
	世帯数	人数	世帯数	人数
ホテル・旅館	457	875	73	129
賃貸型応急住宅	47	120	101	258
親戚・知人宅等	79	114	137	189
計	583	1,109	311	576

- ・ **見守りが必要な避難者**についても、県及び地元自治体と緊密な連携を図りながら**帰還を支援**
- ・ 賃貸型応急住宅に避難される方への**家電購入支援、生活必需品の給与**

(2) 職員の被災地への派遣の状況

派遣業務内容	派遣先	期間	延べ人員
応急給水作業業務	内灘町，珠洲市 七尾市，志賀町 能登町，輪島市	1/14～	50名
上下水道管路応急復旧業務			
家屋被害認定調査	七尾市	4/1～	84名



家屋被害認定調査



応急給水作業



上下水道管路復旧作業

市政 熱中症予防対策について

気候変動適応法(環境省)が改正 (令和6年4月1日施行)

公表元	暑さ指数 (WBGT)
環境省と 気象庁	熱中症警戒アラート (33以上)
日本 気象協会	危険 (31以上33未満)
	厳重警告 (28以上31未満)
	警戒 (25以上28未満)
	注意 (25未満)

公表元	暑さ指数 (WBGT)
環境省と 気象庁	熱中症特別警戒アラート (35以上)
	熱中症警戒アラート (33以上35未満)

変更なし

運用期間：10月23日まで

このアラートに**要注意**！

ホームページ、防災アプリ、防災行政無線、LINE、Facebook、X、Yahoo!防災などでお知らせ



！ 熱中症特別警戒アラート
熱中症特別警戒情報

危険な暑さが予測。
健康に重大な被害が生じるおそれ

！ 熱中症警戒アラート
熱中症警戒情報

熱中症の危険性が極めて高い
気象状況が予測

指定暑熱避難施設 (クーリングシェルター) の指定

市民が危険な暑さから身を守るため、施設毎に自由に
休息できるスペースを開放
します

運用期間：

6月17日～10月23日



市内公共施設・民間施設で
約40施設が指定予定



▲この表示が目印

北陸新幹線開業後のにぎわい

北陸新幹線延伸開業による小松市への効果

■北陸新幹線の利用

3/16～4/15 金沢～福井間利用者72.3万人 前年比126%

■駅周辺の人流の増加

3/18～5/22の人流前年比11%増 市外からの来訪者13%増

■小松土産店の売上

3/1～15と3/18～5/15の比較 期間平均27%増

■駅周辺の土地価格の上昇

駅西 5.35万円【R5年度】5年前より17.6%上昇

駅東 9.50万円【R5年度】5年前より22.2%上昇

■駅周辺の民間開発

北電ビル（2025年夏開業予定）

店舗進出増加、新規ホテル進出計画

歌舞伎のまち小松の発信 小松駅周辺のにぎわい創出

子供歌舞伎首都圏上演

東京 浅草において
歌舞伎のまち小松をPR

期日：3月30日（土）

会場：浅草神社 神楽殿

来場者：10,000人



令和6年お旅まつり・曳山曳揃え

5年ぶりとなる
曳山曳揃え開催！

期日：5月10日（金）

～12日（日）

来場者：75,100人（3日間）



第25回日本こども歌舞伎まつりin小松

全国の子供役者の熱演に拍手喝采！

期日：5月4日（土）

5日（日）

会場：石川県小松市團十郎

芸術劇場うらら

来場者：1,400人（2日間）



第30回全国花のまちづくり小松大会

全国の花の愛好家と地域交流の開催

期日：5月25日（土）・26日（日）

来場者：17,400人（2日間）

花と緑のまちづくり全国首長会

期日：5月9日（木）・10日（金）

全国29市区町村が参加





ベルギー ビルボード市・小松市

1974年5月 姉妹都市提携締結



小松市代表訪問団派遣

期間：2024年4月20日（土）～26日（金）

団員：市長・議長 他3名

内容：記念式典、ヤールマルクト（ビルボード市最大のイベント）視察

欧州コマツ・日本庭園等視察



ビルボード市代表訪問団受入

期間：2024年5月26日（日）～31日（金）

団員：市長・議長 他4名

内容：歓迎式典、歓迎昼食会、記念植樹
バラ園視察、コマツ栗津工場視察

市内施設等視察



GODIVA café

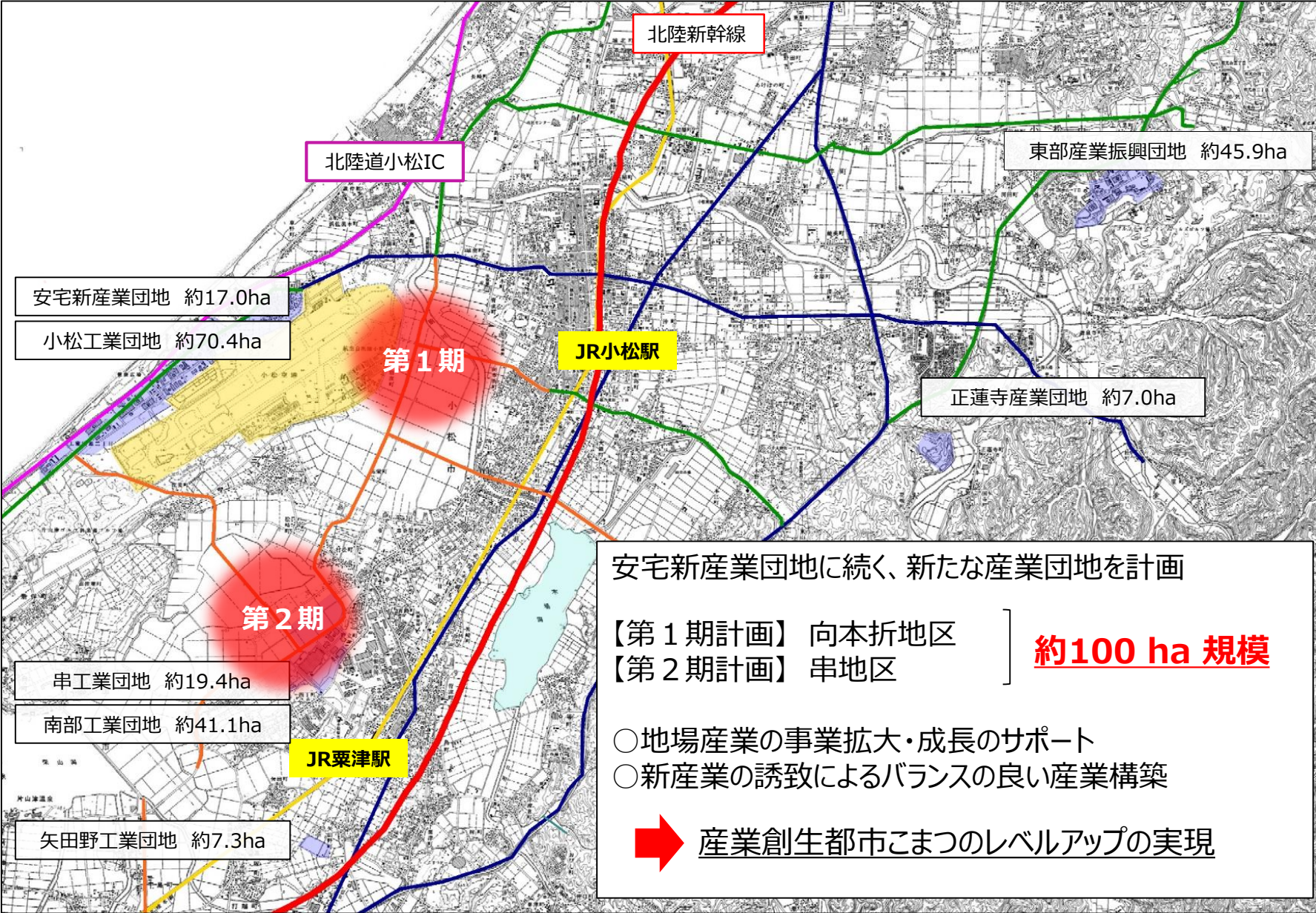
小松市・ビルボード市姉妹都市提携50周年を祝し、3日間限定で小松市に出店

期日：5月24日（金）～26日（日）

場所：小松駅東口広場

市政

新産業団地計画地の決定について



	補正予算額	累 計
一般会計	18億1,853万5千円	534億6,853万5千円
全会計	37億853万5千円	1,122億6,313万5千円

1

能登半島地震に関連した 災害復旧及び支援

- ・宅地被害の復旧工事に対する補助金

新 **P** 被災宅地等復旧支援費 1億1,500万円

- ・被災住宅の耐震改修・建替支援等

拡 **P** 住宅安全向上費 4,370万円

- ・国査定に伴う災害復旧費の追加

拡 **P** 農業施設災害復旧費 7,970万円

- ・生産・加工に必要な施設等の復旧支援

新 **P** 災害復旧農業者支援費 1,890万円

- ・下水道被災管路の災害復旧工事，災害派遣協定に基づく人件費負担

拡 **P** 下水道事業災害復旧 14億7,640万円

2

物価高騰に対する支援

- ・定額減税しきれない方へ差額を給付（所得税3万円，住民税1万円）

新 **P** 物価高騰緊急支援給付金費（調整給付分） 7億630万円

- ・R6年度新たに住民税非課税・均等割のみ課税になった世帯へ10万円を給付

新 **P** 物価高騰緊急支援給付金費（新たな非課税等分） 2億450万円

3

世界に時めく 日本海側の拠点都市こまつ

- ・運行データを一元管理するシステム構築など（デジ田交付金タイプS活用）

新 **P** 地域公共交通再構築費 2億3,650万円

- ・自動運転レベル4に向けてのシステム・センサーの性能向上など

拡 **P** 小松駅・空港間
自動運転バス運行費 1億5,000万円

4

子どもたちの輝く未来創造都市こまつ

- ・悩みを抱える児童に安心して過ごせる居場所を新設

新 **P** こどもの居場所づくり支援費 550万円



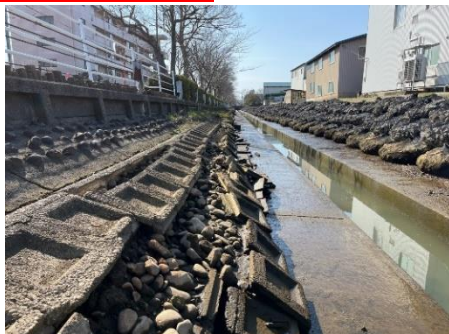
P スライド **新** 新規 **拡** 拡充

～ 令和6年能登半島地震により被災した
九竜橋川排水路（約480m）の災害復旧費 ～

予算額: 7,970万円

九竜橋川排水路

市道土居原下牧線



R6.1.1
能登半島地震

R6.4月
災害査定

R6.10月
工事着手

R7.6月
工事着手

R8.3月
完了予定

九竜橋川排水路工事

市道土居原下牧線(道路・下水道)工事

～ 令和6年能登半島地震により農業施設等に
被害が生じた農業者に対し復旧を緊急的に支援 ～

予算額: 1,890万円

対象者 農業被害を受けた農業者及び団体

支援内容 農産物の生産・加工に必要な施設の修繕等

補助率 国 5/10 県 2/10 市 2/10 (※自己負担 1/10)

令和6年1月1日発生能登半島地震により、**下水道管路が被災**
被災調査を完了し、国の災害査定を受け、**災害復旧工事に着手**

被災直後の状況

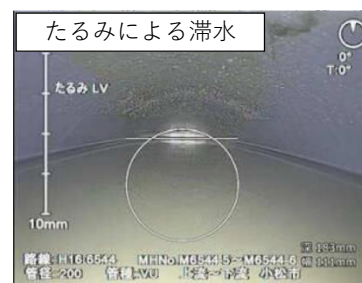
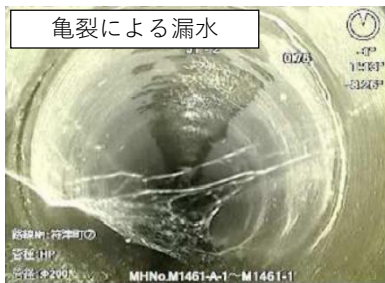


◇下水道管路の災害復旧

- ・市内一円で、道路の陥没、マンホールの損傷、管路の亀裂、塩ビ管のたるみによる滞水が発生。流れない箇所については、応急対応で仮設ポンプを設置・圧送
- ・全体被災延長 $L \approx 5.6 \text{ km}$, 28町内
- ・6月補正予算額 約14.8億円（全体復旧費〔概算〕 20億円余）
※ 水道管・ガス管の移設補償費を含む
- ・被災管路の機能回復、液状化対策による再発防止
- ・他自治体(広島市・桑名市)からの派遣職員を受入れて、迅速な災害復旧を図る

令和7年度中の
復旧工事完了を
目指す

管路の被害状況





予 算

被災宅地・住宅の復旧支援

予算額計：1億5,870万円

○令和6年能登半島地震により、液状化等などの被害を受けた宅地や住宅の復旧のため、所有者が実施する、**宅地の復旧**や**住宅の耐震化**を支援する**補助制度**を創設

宅地

【新設】被災宅地等復旧支援事業

予算額：1億1,500万円

補助額：**最大766万円**

対象工事費から50万円を控除した額の
2/3補助（補助対象:上限1,200万円）

擁壁、地盤、宅地のり面等の復旧、住宅の地盤改良、傾斜修復など

住宅

【拡充】住宅耐震化促進事業

追加補正：2,770万円

地震後、耐震診断、改修の相談・申請件数急増

【対象住宅の拡大】木造共同住宅、長屋を追加

補助額：**最大400万円**

（定額補助最大300万円、上乗せ加算最大100万円）

住宅

【新設】被災住宅耐震化促進事業

予算額：1,600万円

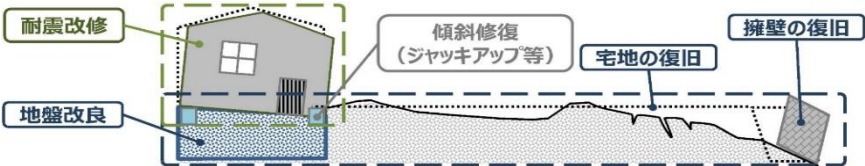
補助額 住 宅：**最大250万円**（建替150万円）
共同住宅等：**最大400万円**（建替300万円）

定額補助（住 宅）最大150万円
（共同住宅等）最大300万円
上乗せ加算（基礎補強等）最大100万円

全国
トップ
クラス

耐震診断により耐震性がない木造の住宅等の耐震改修、傾斜修復、建替
※新耐震基準住宅も対象

②傾斜修復は、「被災宅地等復旧支援事業」及び「被災住宅耐震化促進事業」の併用不可



(1) 定額減税調整給付

予算額：7億630万円

令和6年分の所得税および個人住民税において、定額減税しきれないと見込まれる方に対し、その差額（調整給付額）を算出し、支給します。

対象者数について

約18,000人（見込）

給付額について

①「所得税分控除不足額」の算出方法

定額減税可能額3万円
×
(本人＋扶養親族数)

－

令和6年分推計所得税額（減税前）
＝ 令和5年分所得税額（実績）

＝

①所得税分控除不足額
①<0の場合は0

②「個人住民税分控除不足額」の算出方法

定額減税可能額1万円
×
(本人＋扶養親族数)

－

令和6年度分個人住民税額（減税前）

＝

②個人住民税分控除不足額
②<0の場合は0

→ 調整給付額＝①＋②（一万円単位で「切り上げて」算出）

(2) 令和6年度住民税非課税世帯等給付

予算額：2億450万円

令和6年度において、新たに住民税非課税となる世帯・新たに住民税均等割のみ課税となる世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給します。

対象世帯数について

約2,000世帯（見込）

給付額について

1世帯あたり 10万円

給付時期について

(1) 調整給付分

(2) 非課税世帯等給付分

(案内送付) 8月上旬予定

(案内送付) 7月上旬予定



(振込) 8月下旬以降予定

(振込) 7月下旬以降予定

対象者に早期案内ができるよう
準備作業に取りかかります。



現状・課題

- **運転手不足・高齢化**
▶ 2024年問題 → 交通空白の拡大
- **路線バス利用者の減少**
▶ 5年間で約 **75%**に減少
- **行政負担の増**
▶ バス路線等の維持，らく賃パスポート
→ 10年間で約 **1.3倍**増加
- **高齢者の事故・免許返納・交通空白**
▶ 団塊世代の高齢化，自家用車→公共交通利用
公共交通の限界・維持困難

省人化・新技術
新制度・新サービスの活用

持続可能な交通体系へ再構築

様々な交通モードを組み合わせ



誰もが
行きたいときに、行きたいところへ
行くことのできる 社会の実現

①新しい公共交通に向けた理解促進・機運醸成

予算額：894万円 (国土交通省「共創・MaaS実証プロジェクト
モビリティ人材育成事業 894万円)

R6

地域公共交通のコーディネート人材を育成、**再編の気運醸成**

R7

R8

講義

データ分析・解析

ワークショップ

交通政策の立案

コンペ開催

交通政策の提案

地域交通プラン見直し

地域公共交通
再構築

② タクシーとの共同輸送サービス

予算額：2億2,756万円
内閣府デジタル田園都市国家構想交付金 1億7,066万円

- ▶ 複数の交通サービス（タクシー、自治体ライドシェア等）運行データの**一元管理システム**を構築
- ▶ タクシーとの**共同輸送サービス**を導入 ※今年中に導入予定

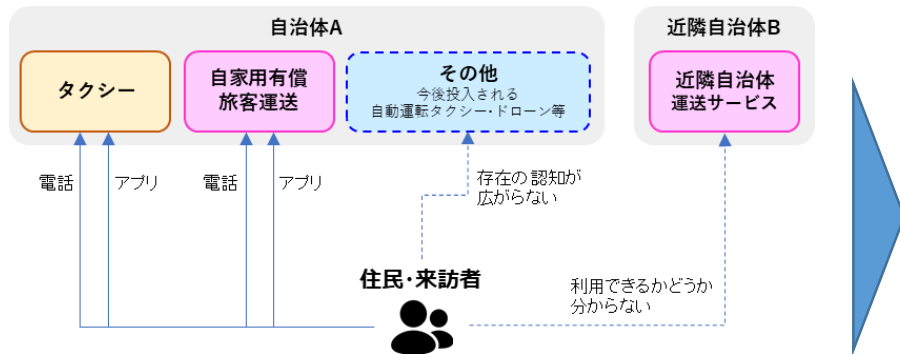
➡ **タクシーの配車が困難な場合に小松市ライドシェアを配車**

自治体ライドシェア：道路運送法第78条2号自家用有償旅客運送制度の愛称

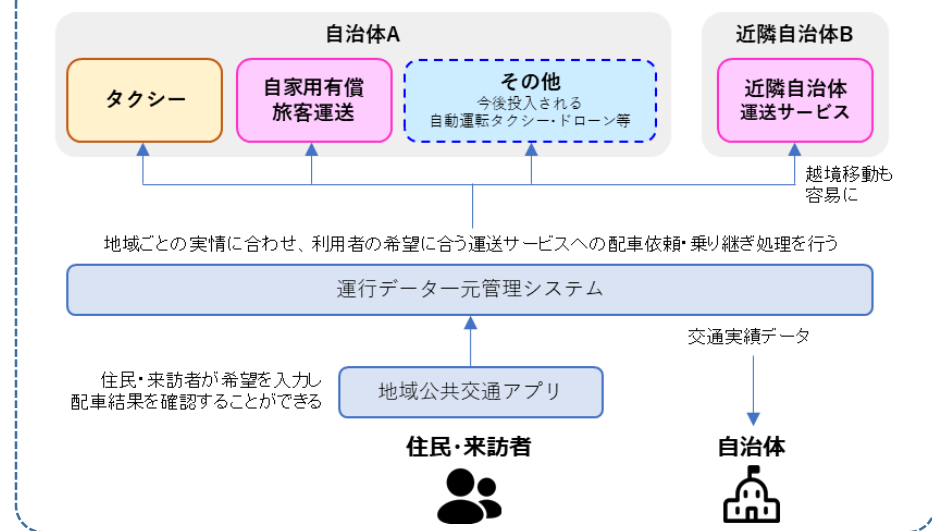
運賃はタクシーと同額
実費8割+協力金2割
※協力金は公共交通の確保維持に活用

運行データ一元管理システムの概要

【現状】



【構築後】



③ 利用促進キャンペーン実施

ライドシェア運行費 [予算額：500万円（前澤友作氏からの寄付金 500万円）]

共同輸送サービスの導入に向けて**無料キャンペーン**を実施

▶ アプリをダウンロード ➡ **3回無料** 対象者：市民、来訪者、二次避難者





小松駅・空港間 自動運転バス 自動運転レベル4に向けて

予算額：
9,800万円（当初）
1億5,000万円（6月補正）

通年運行を実施中（自動運転レベル2：ドライバーによる監視）

※5月21日現在：814便走行、4,067人乗車（約5人/便）

- ▶ 駅・空港間の**アクセス強化**、**レール&フライト拡大**に寄与
- ▶ 利用者の**高い評価・満足度**（5点満点中 **平均4.17点**）

➡ 更なる安全・安心・安定に向けシステム調整・運用改善

【6月補正予算】

自動運転レベル4に向けた取組を強化・拡大

（システムによる監視・特定条件下における完全自動運転）

国土交通省補助金を活用※

※1億5,000万円（申請中）
補助決定は6月上旬の予定

- ▶ **自動運転システム等の機能強化・試験走行**
- ▶ **路線運行用機器の改修**
- ▶ **レベル4認可に必要な各種手続き・申請** など

≪ 関連手続き・申請 ≫

国の有識者会議
による審議

公的試験機関
による評価

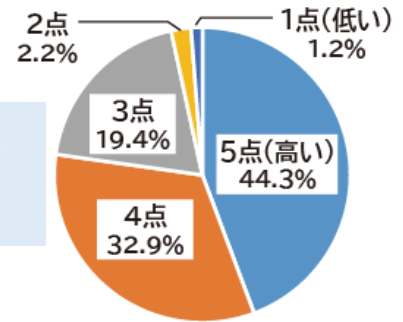
運輸局への申請
（走行環境条件付与）

県公安委員会への申請
（特定自動運行）

➡ 運行ルート**一部区間**のレベル4対応へ

全区間のレベル4に向け 着実に取組を推進

路線バスとしての評価・満足度



利用者アンケート（3月実施）





こども・若者が
「地域コミュニティの中で育つ」ための
多様な居場所づくりをすすめます



背景

- 家庭環境に課題を抱えるこども
- 家庭や学校などに居づらさを感じるこども
- 核家族化・近所づきあいの減少

理念

こども（中学・高校生）の

- **安心** … 「行きたい」「居たい」場所に
- **育ち** … 生活習慣・食生活や健康の管理も
- **体験** … 学校・地域団体・企業などとの関わり
- **自立** … 自分の将来を思い描く

に向けて多面的に支え
社会に出る準備が出来る場所に！

内容

- **相談・体験・交流・学習・食事**など
- **週に2日以上、4時間以上の開所**
学校の休業日や放課後にも開所
- **コーディネーターを配置**
話を聞き、個別に応じた支援を行う複数の職員
- **小松駅周辺で**
こどもが行きたいときに
自分で行ける場所

こどもが本来持つ
主体性や創造力を発揮して
社会で活躍していけるような
成長を後押し

歴史・文化と市民の思いを次世代へ ～未来型図書館整備に向けた公会堂・博物館の解体～

施設廃止に伴う条例廃止・改正

能登半島地震による甚大な被害

- ☑ 建物本体・構造部の損傷
(地盤沈下、柱梁部破断・構造クラック等)
- ☑ 建物内部の損傷・屋外の被害
(壁・床面のクラック、設備の損傷、液状化現象等)
- ☑ 災害後から全館利用を停止中
- ☑ 調査結果より
 - ▶ 公共施設としての利用が困難
 - ▶ 大地震が発生した場合には倒壊の危険性有り



方針

安全性確保を最優先に先行して廃止・解体

条例改正

- 1 「小松市公会堂条例」の廃止
- 2 「小松市立博物館・美術館設置条例」の改正
 - ▶ 博物館資料は他の施設や収蔵庫へ移動
 - ▶ 資料収集・調査研究等の活動は継続
- 3 「小松市民ギャラリー条例」の廃止



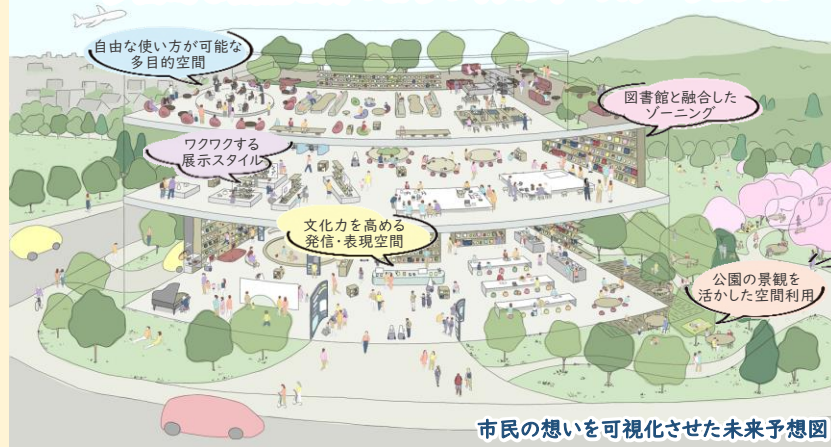
文化発展・交流推進の
思いを受け継ぎ役割を継承

未来型図書館整備を目指して

花と緑に囲まれた
次世代の文化教養ゾーンへ



未来型図書館は
多面的な機能を持つまちづくりのキーステーションに



今後 既存施設の解体に向けて

- ☑ 集約・再編等の対象施設の**アスベスト調査実施中**
(公会堂・博物館・図書館等)
- ☑ 調査結果を踏まえ、解体設計・解体工事時期を検討